熊本高等専門学校	開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	英語I

科目基礎情報

科目番号	0017	科目区分	一般 / 必修
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 4
開設学科	建築社会デザイン工学科	対象学年	1
開設期	通年	週時間数	4
教科書/教材	『Cambridge Experience Ⅰ』（CUP）『be English Logic & Expression Smart Ⅰ』『be Smart 生徒用音声CD』『be Smart English Logic & Expression Workbook』『be Smart Grammar Book』『英単語・熟語Bricks 1』（以上いいずな書店）『Grammar-Based英語反復トレーニング①』『Cambride Experience Ⅰ Workbook』（CUP）		
担当教員	宇ノ木 寛文		

到達目標

1. １年次に学習する文法事項について理解し、それを用いて自分の意思を英語で表現することができる。
2. 英文を聞いて、あるいは読んで、大意をとらえ、情報や考えを的確に理解することができる。
3. 内容を理解した英文について、発音に留意しながら口頭で表現し、その内容を英語で書くことができる。
4. 自学自習の習慣を確立し、英検準2級の将来の合格を目指す。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安(優)	標準的な到達レベルの目安(良)	未到達レベルの目安(不可)
【文法事項に関する評価】１年次に学習する文法事項について理解し、それを用いて自分の意思を英語で表現することができる。	新出の文法事項を用いて、既習事項も踏まえながら自分の考えや意図を適切に表現することができる。	新出の文法事項を用いて、既習事項も踏まえながら自分の考えや意図を表現することができる。	新出の文法事項について、その用法を理解することができない。
【聞くこと・読むことに関する評価】英文を聞き、あるいは読み、大意をとらえ、情報や考えを的確に理解することができる。	英文を聞き、あるいは読み、大意をとらえ、情報や考えを整理して理解することができる。	英文を聞き、あるいは読み、大意をとらえ、情報や考えを的確に理解することができる。	英文を聞いても、あるいは読んでも、大意をとらえることができない。
【話すこと・書くことに関する評価】内容を理解した英文について、発音に留意しながら表現し、その内容を英語で書くことができる。	内容を理解した英文について、聞き手に伝わるように適切な発音やリズム・イントネーションで表現することができる。また、その内容を読み手に分かりやすい正確な英語で書くことができる。	内容を理解した英文について、聞き手に伝わるように適切な発音やリズム・イントネーションで表現することができる。また、その内容を読み手に分かりやすい適切な英語で書くことができる。	まとまりのある英文について、発音やリズム等に留意しながら音読したり、その内容を英語で表現したりすることができない。
【学習習慣の確立に関する評価】自学自習の習慣を確立し、英検準2級の将来の合格を目指す。	英検準2級に合格する。	英検準2級を目指した学習習慣を確立する。	高次の資格取得を目指した学習習慣が確立されない。

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	英語Ⅰは、本校における5年間或いは7年間の英語学習の基礎固めであり、さらには卒業後に必要とされる英語力の習得に向けて、総合的に英語の知識と4技能（聞く・読む・話す・書く）を学ぶ科目である。
授業の進め方・方法	授業では、教科書を用いて基礎的・基本的事項の定着を目指し、ディクテーションや読解、音読などの言語活動を行う。また、基礎的な語彙力強化を狙った単語テストと、文法事項に関する週末課題および小テストを課す。長期休暇には課題を与え、課題確認試験を課し、自発的な学習方法・習慣の確立を目指す。また、英語Ⅰに引き続き、定期試験毎に暗唱テストを課すとともに、スピーチで自分の意思を表現する活動も行う。さらに、外国の文化・習慣に対する理解を深め、より広い視野で物事を捉えることも期待する。
注意点	・授業には必ず予習・復習をして臨むこと。授業の予習・復習の仕方は、各授業担当教員の方針に従う。 ・単語テストと週末課題に関しては事前の指示をもとに、計画的かつ自主的に取り組むこと。 ・その他にも、TV やラジオ、インターネット、映画、音楽など、興味・関心に合わせた自主的・自発的な学習も期待する。

授業の属性・履修上の区分

□ アクティブラーニング	□ ICT 利用	□ 遠隔授業対応	□ 実務経験のある教員による授業

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	ガイダンス 『be Smart English Logic and Expression ILesson 1～５の内容学習及び基礎英語トレーニング	品詞や文型等の基礎的学習項目のブラッシュアップに加え、重点項目である「時制」の学習及び新出・重要語句、また教科書本文及び例題の学習を通じて、発音の改善、語彙力増強、文法事項及び構文運用能力伸長、オーラル及び読み書きを通して行うコミュニケーション能力向上に寄与する学習法を習得し、実践する。
		2週	『be Smart English Logic and Expression ILesson 1～５の内容学習及び基礎英語トレーニング	品詞や文型等の基礎的学習項目のブラッシュアップに加え、重点項目である「時制」の学習及び新出・重要語句、また教科書本文及び例題の学習を通じて、発音の改善、語彙力増強、文法事項及び構文運用能力伸長、オーラル及び読み書きを通して行うコミュニケーション能力向上に寄与する学習法を習得し、実践する。
		3週	『be Smart English Logic and Expression ILesson 1～５の内容学習及び基礎英語トレーニング	品詞や文型等の基礎的学習項目のブラッシュアップに加え、重点項目である「時制」の学習及び新出・重要語句、また教科書本文及び例題の学習を通じて、発音の改善、語彙力増強、文法事項及び構文運用能力伸長、オーラル及び読み書きを通して行うコミュニケーション能力向上に寄与する学習法を習得し、実践する。
		4週	『be Smart English Logic and Expression ILesson 1～５の内容学習及び基礎英語トレーニング	品詞や文型等の基礎的学習項目のブラッシュアップに加え、重点項目である「時制」の学習及び新出・重要語句、また教科書本文及び例題の学習を通じて、発音の改善、語彙力増強、文法事項及び構文運用能力伸長、オーラル及び読み書きを通して行うコミュニケーション能力向上に寄与する学習法を習得し、実践する。

		5週	『be Smart English Logic and Expression ILesson 6～9の内容学習及び基礎英語トレーニング	4週目までのトレーニングで習得した事項に加え、重点項目である「助動詞の用法」「受動態」の学習及び新出・重要語句、また教科書本文及び例題の学習を通じて、発音の改善、語彙力増強、文法事項及び構文運用能力伸長、オーラル及び読み書きを通して行うコミュニケーション能力向上に寄与する学習法を習得し、実践する。
		6週	『be Smart English Logic and Expression ILesson 6～9の内容学習及び基礎英語トレーニング	4週目までのトレーニングで習得した事項に加え、重点項目である「助動詞の用法」「受動態」の学習及び新出・重要語句、また教科書本文及び例題の学習を通じて、発音の改善、語彙力増強、文法事項及び構文運用能力伸長、オーラル及び読み書きを通して行うコミュニケーション能力向上に寄与する学習法を習得し、実践する。
		7週	『be Smart English Logic and Expression ILesson 6～9の内容学習及び基礎英語トレーニング	4週目までのトレーニングで習得した事項に加え、重点項目である「助動詞の用法」「受動態」の学習及び新出・重要語句、また教科書本文及び例題の学習を通じて、発音の改善、語彙力増強、文法事項及び構文運用能力伸長、オーラル及び読み書きを通して行うコミュニケーション能力向上に寄与する学習法を習得し、実践する。
		8週	『be Smart English Logic and Expression ILesson 6～9の内容学習及び基礎英語トレーニング	4週目までのトレーニングで習得した事項に加え、重点項目である「助動詞の用法」「受動態」の学習及び新出・重要語句、また教科書本文及び例題の学習を通じて、発音の改善、語彙力増強、文法事項及び構文運用能力伸長、オーラル及び読み書きを通して行うコミュニケーション能力向上に寄与する学習法を習得し、実践する。
	2ndQ	9週	中間試験	
		10週	『be Smart English Logic and Expression Ilesson10～15の内容学習及び基礎英語トレーニング『Cambridge Experience 1』を用いたコミュニケーショントレーニング	Q1でのトレーニングで習得した事項に加え、重点項目である「不定詞」「使役動詞」「知覚動詞」「分詞」学習及び新出・重要語句、また教科書本文及び例題の学習を通じて、発音の改善、語彙力増強、文法事項及び構文運用能力伸長、オーラル及び読み書きを通して行うコミュニケーション能力向上に寄与する学習法を習得し、実践する。
		11週	『be Smart English Logic and Expression Ilesson10～15の内容学習及び基礎英語トレーニング『Cambridge Experience 1』を用いたコミュニケーショントレーニング	Q1でのトレーニングで習得した事項に加え、重点項目である「不定詞」「使役動詞」「知覚動詞」「分詞」学習及び新出・重要語句、また教科書本文及び例題の学習を通じて、発音の改善、語彙力増強、文法事項及び構文運用能力伸長、オーラル及び読み書きを通して行うコミュニケーション能力向上に寄与する学習法を習得し、実践する。
		12週	『be Smart English Logic and Expression Ilesson10～15の内容学習及び基礎英語トレーニング『Cambridge Experience 1』を用いたコミュニケーショントレーニング	Q1でのトレーニングで習得した事項に加え、重点項目である「不定詞」「使役動詞」「知覚動詞」「分詞」学習及び新出・重要語句、また教科書本文及び例題の学習を通じて、発音の改善、語彙力増強、文法事項及び構文運用能力伸長、オーラル及び読み書きを通して行うコミュニケーション能力向上に寄与する学習法を習得し、実践する。
		13週	『be Smart English Logic and Expression Ilesson10～15の内容学習及び基礎英語トレーニング『Cambridge Experience 1』を用いたコミュニケーショントレーニング	Q1でのトレーニングで習得した事項に加え、重点項目である「不定詞」「使役動詞」「知覚動詞」「分詞」学習及び新出・重要語句、また教科書本文及び例題の学習を通じて、発音の改善、語彙力増強、文法事項及び構文運用能力伸長、オーラル及び読み書きを通して行うコミュニケーション能力向上に寄与する学習法を習得し、実践する。
		14週	『be Smart English Logic and Expression Ilesson10～15の内容学習及び基礎英語トレーニング『Cambridge Experience 1』を用いたコミュニケーショントレーニング	Q1でのトレーニングで習得した事項に加え、重点項目である「不定詞」「使役動詞」「知覚動詞」「分詞」学習及び新出・重要語句、また教科書本文及び例題の学習を通じて、発音の改善、語彙力増強、文法事項及び構文運用能力伸長、オーラル及び読み書きを通して行うコミュニケーション能力向上に寄与する学習法を習得し、実践する。
		15週	定期試験	
		16週	答案返却	
後期	3rdQ	1週	『be Smart English Logic and Expression ILesson 16～20の内容学習及び基礎英語トレーニング『Cambridge Experience 1』を用いたコミュニケーショントレーニング	前期のトレーニングで習得した事項に加え、重点学習項目である「関係詞」「比較」及び新出・重要語句、また教科書本文及び例題の学習を通じて、発音の改善、語彙力増強、文法事項及び構文運用能力伸長、オーラル及び読み書きを通して行うコミュニケーション能力向上に寄与する学習法を習得し、実践する。
		2週	『be Smart English Logic and Expression ILesson 16～20の内容学習及び基礎英語トレーニング『Cambridge Experience 1』を用いたコミュニケーショントレーニング	前期のトレーニングで習得した事項に加え、重点学習項目である「関係詞」「比較」及び新出・重要語句、また教科書本文及び例題の学習を通じて、発音の改善、語彙力増強、文法事項及び構文運用能力伸長、オーラル及び読み書きを通して行うコミュニケーション能力向上に寄与する学習法を習得し、実践する。
		3週	『be Smart English Logic and Expression ILesson 16～20の内容学習及び基礎英語トレーニング『Cambridge Experience 1』を用いたコミュニケーショントレーニング	前期のトレーニングで習得した事項に加え、重点学習項目である「関係詞」「比較」及び新出・重要語句、また教科書本文及び例題の学習を通じて、発音の改善、語彙力増強、文法事項及び構文運用能力伸長、オーラル及び読み書きを通して行うコミュニケーション能力向上に寄与する学習法を習得し、実践する。

		4週	『be Smart English Logic and Expression ILesson 16～20の内容学習及び基礎英語トレーニング 『Cambridge Experience 1』を用いたコミュニケーショントレーニング	前期のトレーニングで習得した事項に加え、重点学習項目である「関係詞」「比較」及び新出・重要語句、また教科書本文及び例題の学習を通じて、発音の改善、語彙力増強、文法事項及び構文運用能力伸長、オーラル及び読み書きを通して行うコミュニケーション能力向上に寄与する学習法を習得し、実践する。
		5週	『be Smart English Logic and Expression ILesson 16～20の内容学習及び基礎英語トレーニング 『Cambridge Experience 1』を用いたコミュニケーショントレーニング	前期のトレーニングで習得した事項に加え、重点学習項目である「関係詞」「比較」及び新出・重要語句、また教科書本文及び例題の学習を通じて、発音の改善、語彙力増強、文法事項及び構文運用能力伸長、オーラル及び読み書きを通して行うコミュニケーション能力向上に寄与する学習法を習得し、実践する。
		6週	『be Smart English Logic and Expression ILesson 16～20の内容学習及び基礎英語トレーニング 『Cambridge Experience 1』を用いたコミュニケーショントレーニング	前期のトレーニングで習得した事項に加え、重点学習項目である「関係詞」「比較」及び新出・重要語句、また教科書本文及び例題の学習を通じて、発音の改善、語彙力増強、文法事項及び構文運用能力伸長、オーラル及び読み書きを通して行うコミュニケーション能力向上に寄与する学習法を習得し、実践する。
		7週	『be Smart English Logic and Expression ILesson 16～20の内容学習及び基礎英語トレーニング 『Cambridge Experience 1』を用いたコミュニケーショントレーニング	前期のトレーニングで習得した事項に加え、重点学習項目である「関係詞」「比較」及び新出・重要語句、また教科書本文及び例題の学習を通じて、発音の改善、語彙力増強、文法事項及び構文運用能力伸長、オーラル及び読み書きを通して行うコミュニケーション能力向上に寄与する学習法を習得し、実践する。
		8週	『be Smart English Logic and Expression ILesson 16～20の内容学習及び基礎英語トレーニング 『Cambridge Experience 1』を用いたコミュニケーショントレーニング	前期のトレーニングで習得した事項に加え、重点学習項目である「関係詞」「比較」及び新出・重要語句、また教科書本文及び例題の学習を通じて、発音の改善、語彙力増強、文法事項及び構文運用能力伸長、オーラル及び読み書きを通して行うコミュニケーション能力向上に寄与する学習法を習得し、実践する。
	4thQ	9週	中間試験	
		10週	『be Smart English Logic and Expression ILesson 21～23の内容学習及び基礎英語トレーニング 『Cambridge Experience 1』を用いたコミュニケーショントレーニング	重点学習項目である「仮定法」「様々な接続詞」及び新出・重要語句、また教科書本文及び例題の学習を通じて、発音の改善、語彙力増強、文法事項及び構文運用能力伸長、オーラル及び読み書きを通して行うコミュニケーション能力向上に寄与する学習法を習得し、実践する。
		11週	『be Smart English Logic and Expression ILesson 21～23の内容学習及び基礎英語トレーニング 『Cambridge Experience 1』を用いたコミュニケーショントレーニング	重点学習項目である「仮定法」「様々な接続詞」及び新出・重要語句、また教科書本文及び例題の学習を通じて、発音の改善、語彙力増強、文法事項及び構文運用能力伸長、オーラル及び読み書きを通して行うコミュニケーション能力向上に寄与する学習法を習得し、実践する。
		12週	『be Smart English Logic and Expression ILesson 21～23の内容学習及び基礎英語トレーニング 『Cambridge Experience 1』を用いたコミュニケーショントレーニング	重点学習項目である「仮定法」「様々な接続詞」及び新出・重要語句、また教科書本文及び例題の学習を通じて、発音の改善、語彙力増強、文法事項及び構文運用能力伸長、オーラル及び読み書きを通して行うコミュニケーション能力向上に寄与する学習法を習得し、実践する。
		13週	『be Smart English Logic and Expression ILesson 21～23の内容学習及び基礎英語トレーニング 『Cambridge Experience 1』を用いたコミュニケーショントレーニング	重点学習項目である「仮定法」「様々な接続詞」及び新出・重要語句、また教科書本文及び例題の学習を通じて、発音の改善、語彙力増強、文法事項及び構文運用能力伸長、オーラル及び読み書きを通して行うコミュニケーション能力向上に寄与する学習法を習得し、実践する。
		14週	『be Smart English Logic and Expression ILesson 21～23の内容学習及び基礎英語トレーニング 『Cambridge Experience 1』を用いたコミュニケーショントレーニング	重点学習項目である「仮定法」「様々な接続詞」及び新出・重要語句、また教科書本文及び例題の学習を通じて、発音の改善、語彙力増強、文法事項及び構文運用能力伸長、オーラル及び読み書きを通して行うコミュニケーション能力向上に寄与する学習法を習得し、実践する。
		15週	学年末試験	
		16週	答案返却	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	1	
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	1	
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要となる英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	1	
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	1	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	1	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	1	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	1	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	1	

				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	1	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	1	
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	1	
			英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	1	
				英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	1	
				英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	1	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	1	
				関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	1	
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	1	
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	1	
				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	1	
				実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	1	
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	1	
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	1	
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	1	
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	1	
				円滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相づち、繰り返し、ボディーランゲージなど)。	1	
	態度・志向性(人間力)	態度・志向性	態度・志向性	周囲の状況と自身の立場に照らし、必要な行動をとることができる。	1	
				自らの考えで責任を持ってものごとに取り組むことができる。	1	
				目標の実現に向けて計画ができる。	1	
				目標の実現に向けて自らを律して行動できる。	1	
				日常の生活における時間管理、健康管理、金銭管理などができる。	1	
				社会の一員として、自らの行動、発言、役割を認識して行動できる。	1	
				チームで協調・共同することの意義・効果を認識している。	1	
				チームで協調・共同するために自身の感情をコントロールし、他者の意見を尊重するためのコミュニケーションをとることができる。	1	
				当事者意識をもってチームでの作業・研究を進めることができる。	1	
				チームのメンバーとしての役割を把握した行動ができる。	1	
				リーダーがとるべき行動や役割をあげることができる。	1	
				適切な方向性に沿った協調行動を促すことができる。	1	
				リーダーシップを発揮する(させる)ためには情報収集やチーム内での相談が必要であることを知っている	1	
				法令やルールを遵守した行動をとれる。	1	
				他者のおかれている状況に配慮した行動がとれる。	1	
				技術が社会や自然に及ぼす影響や効果を認識し、技術者が社会に負っている責任を挙げることができる。	1	
				その時々で自らの現状を認識し、将来のありたい姿に向かっていくために現状で必要な学習や活動を考えることができる。	1	
				キャリアの実現に向かって卒業後も継続的に学習する必要性を認識している。	1	
				高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業や大学等でどのように活用・応用されるかを説明できる。	1	
				高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業等でどのように活用・応用されているかを認識できる。	1	
				企業人として活躍するために自身に必要な能力を考えることができる。	1	
				コミュニケーション能力や主体性等の「社会人として備えるべき能力」の必要性を認識している。	1	
評価割合						

	試験	小テスト・提出課題・授業中の言語活動等	合計
総合評価割合	70	30	100
基礎的能力	70	30	100
専門的能力	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0